

なんば しょうと? 第5回

地域の特色

盆踊り

須恵町の地域の特色や伝統行事等を紹介します。そこで今回は、“盆踊り”ってなんばしょうと？



城山区の盆踊りの様子

一番田区の柴山さんと城山区の佐藤さんにお話を伺いました。

精霊とともに踊る

盆踊りは、盆に招いた祖霊を迎え、送るための念仏踊りであるといわれています。盆踊りの空間は、あの世とこの世の境界であり、踊りの所作には霊と自分自身の親しみを表す所作が必ず含まれています。

娯楽の少なかった昔には、盆踊りは運動会とともに地域総出の行事でした。近年では商店街や町内会が盆踊りを主催することが多くなり、宗教色を脱してイベント的な性質を強めています。



柴山 正俊 さん

佐藤 蔵一 さん



家族連れで賑わう会場

須恵町では8月13日に、城山区（納涼大会）と一番田区（納涼盆踊り大会）が行われています。やぐらのまわりを、曲（炭坑節、須恵町音頭など）を流して輪になって踊ります。また、夜店や舞台での催しなどで賑わいます。

毎年、お盆で里帰りをされている方も参加され、盛大な祭りとなっています。ぜひ皆さんも参加されて下さい。

編集後記

人に会うと様々な声をいただく。「須恵町が大好きだ」という方が大半だが、昨今の事情から防災について関心が高い。愛するふるさととはまた、守るべきふるさとでもある。

防災というと、心がまえから家庭の取り組み、インフラの整備など、どこまでも課題がある。その上でやはり、地域のつながりが、決定的に大事だと、様々な教訓が教えてくれている。

地域のつながりを再確認できるのが祭りだ。夏は祭りの季節。祭りは、地域のつながり、人のつながりを深く強くしてくれる。お盆にふるさとに帰ってくる人もいるだろう。大いに楽しみたいたいのだ。人々が大事にしてきたふるさとの祭りを、これからも百年二百年と受け継いでいくためにも

田ノ上真

広報特別委員会

議長：三角 良人
 委員 長：今村 桂子
 副委員 長：合屋 伸好
 委員：百田 輝子
 委員：田ノ上 真